

平成30年第3回那須塩原市議会定例会

議事日程（第6号）

平成30年9月14日（金曜日）午前10時開議

- 日程第 1 議案第78号～議案第84号の質疑
- 日程第 2 議案第68号の質疑
- 日程第 3 議案第69号～議案第76号の質疑
- 日程第 4 議案第77号の質疑
- 日程第 5 議案第86号～議案第89号の質疑
- 日程第 6 認定第1号の質疑
- 日程第 7 認定第2号～認定第8号の質疑
- 日程第 8 認定第9号の質疑
- 日程第 9 発議第7号 決算審査特別委員会の設置について
- 日程第10 議案の関係委員会付託について
- 日程第11 請願・陳情等の関係委員会付託について

出席議員（26名）

1番	山形紀弘	議員	2番	中里康寛	議員
3番	田村正宏	議員	4番	星野健二	議員
5番	小島耕一	議員	6番	森本彰伸	議員
7番	齊藤誠之	議員	8番	星宏子	議員
9番	佐藤一則	議員	10番	相馬剛	議員
11番	平山武	議員	12番	大野恭男	議員
13番	鈴木伸彦	議員	14番	松田寛人	議員
15番	櫻田貴久	議員	16番	伊藤豊美	議員
17番	眞壁俊郎	議員	18番	高久好一	議員
19番	相馬義一	議員	20番	齋藤寿一	議員
21番	君島一郎	議員	22番	玉野宏	議員
23番	金子哲也	議員	24番	吉成伸一	議員
25番	山本はるひ	議員	26番	中村芳隆	議員

欠席議員（なし）

説明のために出席した者の職氏名

市長	君島寛	副市長	片桐計幸
教育長	大宮司敏夫	企画部長	藤田一彦
企画政策課長	松本仁一	総務部長	山田隆
総務課長	田代宰士	財政課長	田野実
生活環境部長	鹿野伸二	環境管理課長	五十嵐岳夫
保健福祉部長	田代正行	社会福祉課長	板橋信行
子ども未来部	富山芳男	子育て支援課	相馬智子
産業観光部長	小出浩美	農務畜産課長	八木沢信憲
建設部長	稲見一美	都市計画課長	大木基
上下水道部長	磯真	水道課長	黄木伸一
教育部長	小泉聖一	教育総務課長	平井克巳
会計管理者	高久幸代	選管・監査・固定資産評価・公平委員会事務局	増田健造
農業委員会事務局	久留生利美	西那須野支所	後藤修

塩原支所長 宇都野 淳

本会議に出席した事務局職員

議会議務局長 石塚 昌章

議事課長 小平 裕二

議事調査係長 関根 達弥

議事調査係 鎌田 栄治

議事調査係 室井 良文

議事調査係 磯 昭弘

開議 午前10時00分

◎開議の宣告

- 議長（君島一郎議員） おはようございます。
散会前に引き続き、本日の会議を開きます。
ただいまの出席議員は26名であります。

◎議事日程の報告

- 議長（君島一郎議員） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎議案第78号～議案第84号の
質疑

- 議長（君島一郎議員） 初めに、日程第1、議案第78号から議案第84号までの条例案件7件を議題といたします。
以上に対し、質疑を許します。
〔発言する人なし〕
- 議長（君島一郎議員） 質疑がないようですので、議案第78号から議案第84号までの条例案件7件に対する質疑を終了することで異議ございませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終了いたします。

◎議案第68号の質疑

- 議長（君島一郎議員） 次に、日程第2、議案第68号 一般会計補正予算案件を議題といたします。
以上に対し、質疑を許します。

〔発言する人なし〕

- 議長（君島一郎議員） 質疑がないようですので、議案第68号 一般会計補正予算案件に対する質疑を終了することで異議ございませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終了いたします。

◎議案第69号～議案第76号の
質疑

- 議長（君島一郎議員） 次に、日程第3、議案第69号から議案第76号までの特別会計補正予算案件8件を議題といたします。
以上に対し、質疑を許します。
〔発言する人なし〕
- 議長（君島一郎議員） 質疑がないようですので、議案第69号から議案第76号までの特別会計補正予算案件8件に対する質疑を終了することで異議ございませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終了いたします。

◎議案第77号の質疑

- 議長（君島一郎議員） 次に、日程第4、議案第77号 企業会計補正予算案件を議題といたします。
以上に対し、質疑を許します。
〔発言する人なし〕
- 議長（君島一郎議員） 質疑がないようですので、議案第77号 企業会計補正予算案件に対する質疑を終了することで異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

- 議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終了いたします。

◇

◎議案第86号～議案第89号の
質疑

- 議長（君島一郎議員） 次に、日程第5、議案第86号から89号までのその他の案件4件を議題といたします。

以上に対し、質疑を許します。

〔発言する人なし〕

- 議長（君島一郎議員） 質疑がないようですので、議案第86号から議案第89号までのその他の案件4件に対する質疑を終了することで異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

- 議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終了いたします。

◇

◎認定第1号の質疑

- 議長（君島一郎議員） 次に、日程第6、認定第1号 平成29年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

質疑の通告者に対し、順次発言を許します。

初めに、9番、佐藤一則議員。

- 9番（佐藤一則議員） 簿冊、市政報告書209ページ、堆肥センター管理運営費について、執行率とその理由についてお伺いをいたします。

- 議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

- 産業観光部長（小出浩美） 堆肥センター管理運

営費の執行率とその理由ということでございます。

予算現額につきましては、4,689万4,000円、それに対する執行率が96.1%となっております。

執行残の主な理由としましては、堆肥製造及び運搬等業務委託。こちらにつきまして、入札執行結果による契約額の減ということでございます。

- 議長（君島一郎議員） 9番、佐藤一則議員。

- 9番（佐藤一則議員） それについて、どのようにお考えですか。

- 議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

- 産業観光部長（小出浩美） 当初予算について、実際に入札してみたところ執行減があったということで、金額に対して妥当な入札額ではないかというふうに考えております。

- 議長（君島一郎議員） 9番、佐藤一則議員。

- 9番（佐藤一則議員） 続きまして、市政報告書210ページ、八郎ヶ原放牧場管理運営費について、執行率とその理由についてお伺いをいたします。

- 議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

- 産業観光部長（小出浩美） 八郎ヶ原放牧場の執行率とその理由でございます。

こちらにつきましては、予算現額が950万9,000円、これに対する執行率が92.9%ということでございます。

執行残の主な理由としましては、指定管理の業務委託の消費税、こちらにつきまして、10%を想定しておりましたが、実際には8%の契約となったということで、そちらの執行残となっております。

- 議長（君島一郎議員） 9番、佐藤一則議員。

- 9番（佐藤一則議員） それにつきましては、消費税ということですから、もうこれはどうしようもないということで。

続きまして、市政報告書212ページ、国営那須野原総合開発関連事業費、これにつきましての執行率とその理由についてお伺いをいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

○産業観光部長（小出浩美） 国営那須野原総合開発関連事業の執行率とその理由でございますけれども、こちらにつきましては、予算現額2,693万円に対して、執行率が98.4%ということでございます。

執行残の主な理由といたしましては、農業水利施設保全合理化事業、水管理システムの更新でございますけれども、こちらの負担額が確定しましたところ、減額となったというところでございます。

○議長（君島一郎議員） 9番、佐藤一則議員。

○9番（佐藤一則議員） 続きまして、市政報告書241ページ、塩原温泉湯っ歩の里管理運営費、塩原支所、その執行率とその理由についてお伺いをいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

塩原支所長。

○塩原支所長（宇都野 淳） それでは、塩原支所から答弁させていただきます。

執行率につきましては99.9%となっております。予算額1,798万2,000円に対しまして、1,797万80円と、おおむね予定どおりの事業が行われたと捉えております。

○議長（君島一郎議員） 次に、8番、星宏子議員。

○8番（星 宏子議員） 市政報告書64ページ、広報誌発行費、空撮機器活用状況についてお伺いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） 空撮機器の活用状況でござ

いますが、平成29年度、活用したのは、主に広報誌、それからホームページ、さらにはイベント・学校行事等の撮影に利用し、撮影をした回数は12回でございます。

○議長（君島一郎議員） 8番、星宏子議員。

○8番（星 宏子議員） 続きまして、73ページ、行財政改革推進費、職員提案制度提案件数年度推移について、平成29年度の3件の提案の内容をお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） 3件の提案内容でございますが、まず1件が、庁舎等公共施設へのLED照明の導入という提案がございました。それから、那須塩原市の特産品についての提案が1件。さらに、市のブランドキャラクターとして「みるひい」がいるわけですが、そのモニュメントの設置についてという提案があり、最後の「みるひい」のモニュメントについては採用、その前の2件については不採用という結果になりました。

○議長（君島一郎議員） 8番、星宏子議員。

○8番（星 宏子議員） 続きまして、市政報告書81ページから82ページ、結婚対策事業費、補助金の予算額50万円に対し、執行額が10万円の理由と具体的な事業内容についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） この制度につきましては、昨年9月1日から始まったものでございますが、当初予定しておりました予算額50万円というのは、限度額10万円で5団体分を予定し、予算を計上したところですが、実際に事業を実施していただいた団体が1団体ということで、決算額は10万円でございます。

具体的な内容につきましては、交付団体は西那

須野商工会青年部でございます。にしなすコン i n 千本松牧場というイベントを、本年3月に開催をし、結果としまして男性が24、女性が18名、計42名の参加があり、そこでの、参考に申し上げますと、カップル成立数は5組という状況でございます。

○議長（君島一郎議員） 8番、星宏子議員。

○8番（星 宏子議員） 29年度の予算が5団体分で、実際のところは1団体分だったということですが、それはほかに手を挙げる団体がいなかったということでしょうか。それとも、手を挙げた団体がいたけれども採択にならなかったのか。その理由をお聞かせください。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） 申請のあった団体が1団体で、審査をし、決定したのが1団体ということでございます。

○議長（君島一郎議員） 8番、星宏子議員。

○8番（星 宏子議員） このまま30年度予算も同じ5団体で予算が組まれていますが、もうずっと募集のほうは、もう5団体ということで今後も募集のほうはかけていくという考えでよろしかったですか。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） 今後につきましては、状況を見ながらということになると思います。

○議長（君島一郎議員） 次に、2番、中里康寛議員。

○2番（中里康寛議員） おはようございます。

決算書70ページ、学校給食費収入、収入未済額の内訳についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

教育部長。

○教育部長（小泉聖一） 収入未済額の内訳ということで934万4,850円の内訳なんですけど、現年度分としましては65万8,210円、過年度分としまして868万6,640円となっております。

以上です。

○議長（君島一郎議員） 2番、中里康寛議員。

○2番（中里康寛議員） 件数についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

教育部長。

○教育部長（小泉聖一） 件数については、まず現年度分65万8,210円については19人。過年度分868万6,640円に対しましては122人となっております。以上です。

○議長（君島一郎議員） 2番、中里康寛議員。

○2番（中里康寛議員） 平成28年と比べまして余り圧縮されていないように思いますが、課題は何か、お伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

教育部長。

○教育部長（小泉聖一） 28年度と比較して、前年度比ということで、現年度分については2万4,000ほど、過年度分については32万9,000ほど圧縮というか、その程度にはなっていますが、課題としては、やはり給食費の支払いに対しての保護者というんですか、支払う方の意識というところなのかなと思っております。

以上です。

○議長（君島一郎議員） 2番、中里康寛議員。

○2番（中里康寛議員） 続きまして、決算書220ページから221ページ、地域密着型介護サービス給付費不用額約3億円の理由についてお伺いします。

○議長（君島一郎議員） 中里議員、申し上げます。

今、一般会計の決算の部分だけでございますの

で、特別会計につきましては一般会計終了後行いますので、そのときお願いをしたいと思います。

○2番（中里康寛議員） 失礼しました。

○議長（君島一郎議員） 次に、6番、森本彰伸議員。

○6番（森本彰伸議員） おはようございます。

市政報告書86ページ、生活バス路線維持費で、補助金の交付が28年と比べて減額になっている理由をお尋ねします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 生活バス路線維持費が減額になっている理由ということでお答え申し上げます。

生活バス路線維持費に関しましては、交付しております交付金に、補助金の要件によって、国・県、両方と協調をして交付します那須塩原市バス運行対策費、もう一つ、県のほうとのみ協調をして交付をします那須塩原市生活バス路線維持費、この2つがございます。

国・県と協調して交付しますバスの運行費につきましては、対象路線が3路線ということで、28年度と比較いたしまして500万円強増額しているというところでございます。

県のほうと協調して交付しております生活バス路線維持費、こちらにつきましては、28年度と比較いたしまして1,300万円、弱ですけれども減額となっております。

こちらは補助要件が満たせない路線、これが2つほど、路線の合計でいきますと13路線から11路線に減ってしまったということによりまして、全体としては730万円程度の減額となったものでございます。

○議長（君島一郎議員） 6番、森本彰伸議員。

○6番（森本彰伸議員） 補助要件を満たさない

というのは、路線の調子がいいとか、そういうふうな理由でしょうか。お伺いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 基本的には利用者、乗っていただく方が減ってしまったということになりますけれども、補助要件といたしまして、少し計算方法は複雑なんですけれども、平均乗車密度というのがございまして、これが2.0に達しないと補助要件に該当しないということがございまして、2つの路線は、29年度につきましてはこの要件を満たさなかったということで減額になってしまったということでございます。

○議長（君島一郎議員） 6番、森本彰伸議員。

○6番（森本彰伸議員） では、続きまして市政報告書127ページ、補装具給付費で、28年と比べ、交付、修理とも件数は減っているのに決算額がふえた理由をお尋ねいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） それでは、まず交付から説明させていただきます。

交付につきましては、つえや補聴器など、安価な補装具の申請が減少いたしました。義足や電動車椅子などの高額な申請がふえたため、結果としては、具体的に申し上げますと、7件、交付では減っておりますが、金額では約498万円増額になっております。

修理につきましては、11件減少いたしまして約18万円減少ということで、交付と修理を合わせますと約480万円の増額ということになってございます。

○議長（君島一郎議員） 6番、森本彰伸議員。

○6番（森本彰伸議員） 続きまして、市政報告書の162ページ、ひとり親家庭支援費で、扶助費の

当初予算と決算額の差をお尋ねいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

子ども未来部長。

○子ども未来部長（富山芳男） 不用額の当初予算と決算額の差ということでございます。

こちらにつきましては、主にひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金の執行残によるものでございます。

当初予算では、平成28年度からの継続者を8名、新規申込者を6名を見込んで予算編成をしたところでございますけれども、最終的な継続者が7名、新規の申し込みが1名となったことから、執行残が生じたものでございます。

○議長（君島一郎議員） 次に、10番、相馬剛議員。

○10番（相馬 剛議員） 市政報告書73ページ、公共施設等有効活用基金積立金でございますが、基金残高が、平成25年度末から平成29年度末にかけておよそ4倍となっておりますが、基金の目的と適正な残高は幾らなのか、またその根拠をお願いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） まず、基金の目的でございますが、公共施設等の有効活用に要する財源を確保することによりまして、公共施設等の整理統合に伴う再編整備、それから長寿命化、また効率的な運用を行うこと、これが目的となっております。

適正な残高ということでございますが、基本的には、財政調整基金のように、一般にこういうふうに言われているというようなものもございません。基準というものが無いと。本市のほうで現在考えておりますのは、公共施設等総合管理計画をこれから進めていく、現状では、各部門ごとに、長寿命化であったり、そういう計画を策定してい

る中にあります。総合管理計画の中で相当額の財源不足が生じるということが予想されておりました、ざっくりではありますが、ならば年40億程度の不足が生じるという状況に、それが背景にあると。

当然、これから現状を維持するわけではございませんので、そのために総合管理計画を進めていくと、そういう中にあっても相当額な財源が必要になってくる、今後の財源不足、それから事業費の平準化、そういったものに備えるために積み立てをしているという内容でございます。

○議長（君島一郎議員） 10番、相馬剛議員。

○10番（相馬 剛議員） それでは、現時点でどのぐらいが適正かというのは、まだ判断はされていないという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

企画部長。

○企画部長（藤田一彦） 適正額というところにはいきませんが、できるだけ財源と相談をしながら備えていきたいというふうに考えております。

○議長（君島一郎議員） 次に、1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） おはようございます。

決算書49ページから50ページ、農業施設使用料、収入未済額の内訳についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

○産業観光部長（小出浩美） 農業施設使用料の収入未済額の内訳ということでございます。

こちらにつきましては3件ございまして、いずれも青木ふるさと物産センターの加工販売所とか、食堂の使用料の未済額ということでございます。

現年度分につきましては2件で、合わせまして111万8,000円です。過年度分、こちらにつきましては1件で98万円ということでございます。

こちらにつきましては、現在も、何ていうんですか、お支払いいただいていない方に支払うようお願いをしております、少しずつではありますけれども、分割で納付をいただいているというところがございます。

現在、3件合わせまして41万8,000円を納付いただいているというような状況になっております。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 前年度よりことしの額のほうかふえている要因を教えてください。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

○産業観光部長（小出浩美） 金額がふえている要因ということでございますけれども、こちらにつきましては、やはり相手方とのいろいろ調整がありまして、その辺の結果によるということでございます。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 続きまして、決算書49ページから50ページ、公営住宅使用料、公営住宅使用料の収入未済額の内訳についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

建設部長。

○建設部長（稲見一美） 公営住宅使用料の収入未済額の内訳についてでございますが、現年度分が154万5,300円、未納者が28名。それから、過年度分が214万1,655円で、14名の方が未納というふうになっております。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 昨年より収入未済額がかなり減っております。それはどのような取り組みをしたかお伺いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

建設部長。

○建設部長（稲見一美） 特に昨年の特徴的な取り組みでございますが、議会の議決を頂戴いたしまして、裁判所に訴えたということでございまして、強制執行を1件やりました。

そのような厳しい取り組みもございまして、そのようなことで少しずつ取り組みを強めていったということだと思います。

以上です。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 続きまして、市政報告書206ページ、はじめてのふるさとごはん事業費（子育て応援米）、平成29年度決算額が前年度より増額となった理由をお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

○産業観光部長（小出浩美） ふるさとごはん事業が前年度決算額より増額だった理由ということでございますけれども、こちらにつきましては、申し込みを受けてから発送するまでの、どうしても年度末に受けますと、その期間を要するものですから、28年度の申し込みを、一部29年度の予算での対応になったというところで、29年度が多いという結果になっております。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） この事業の、1世帯当たり10kgということのお米を配給することですが、その単価を教えてください。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

産業観光部長。

○産業観光部長（小出浩美） 単価ということでございますけれども、こちらにつきましては、送料込みで約4,800円ということでございます。

○議長（君島一郎議員） 次に、3番、田村正宏議員。

○3番（田村正宏議員） 市政報告書123ページ、

自殺対策強化事業費、ゲートキーパー養成講座参加者数とメンタルチェックシステム「こころの体温計」アクセス数について。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） それでは、ゲートキーパー養成講座参加数につきましては、28名でございます。メンタルチェックシステム「こころの体温計」アクセス数については、1万2,147件であります。

○議長（君島一郎議員） 3番、田村正宏議員。

○3番（田村正宏議員） では、続きまして市政報告書123ページ、生活困窮者自立支援事業費、学習支援事業業務委託料について、事業の平成28年度からの参加人数の推移と、委託料が増額となっている理由は。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） それでは、学習支援事業関係について回答いたします。

参加人数につきましては、平成28年度が73人、平成29年度が62人でございます。

委託料増額の理由につきましては、理由が2つございます。

まず1つ目は、28年度は、この事業は10カ所実施しておりますが、28年度は直営で5カ所、委託で5カ所実施していたものを、29年度からは全て委託で実施したというものでございます。

2番目の理由につきましては、実施月が、委託の月が28年度は8カ月、29年度は12カ月ということで、28年度は、通算いたしますと5カ所を8カ月やっておりますして40回実施と、29年度は10カ所実施いたしまして、12カ月に120回実施ということで3倍違いまして、決算額につきましては、28年度が約560万ほど、29年度が1,600万ほどになっ

ております。

以上であります。

○議長（君島一郎議員） 3番、田村正宏議員。

○3番（田村正宏議員） 続きまして、市政報告書189ページ、不法投棄巡回監視事業費、巡回監視エリアの数と事業の具体的成果について。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 不法投棄巡回監視事業の巡回監視のエリアの数と事業の具体的成果についてということでお答えをさせていただきます。

巡回活動につきましては、特にエリアというものは定めておりませんで、市内全域を対象として巡回を実施しているというところでございます。

具体的な成果といたしましては、平成29年度、こちらにつきましては、約25tの不法投棄物、これを回収をしております。回収量、これは年々減少傾向ということにありまして、一番多かった平成22年度から見ますと10分の1以下の回収量となっております。

巡回活動をより充実した形で正常を保つこと、これによって不法投棄の抑制効果があると、このように認識をしているところでございます。

○議長（君島一郎議員） 3番、田村正宏議員。

○3番（田村正宏議員） では、続きまして市政報告書190ページ、産業廃棄物対策事業費、廃棄物処理施設に係る周辺整備事業、ソフト事業、ハード事業それぞれ対象先ごとの内容と成果について。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） ソフト事業、ハード事業、それぞれの対象先ごとの内容と成果ということですが。

記載のとおり、ソフト事業について3件、ハード事業につきましては5件ということになってお

りまして、ソフト事業の内容につきましては、地域住民の監視活動を行っておりますけれども、この監視活動を行っている方への報酬ということでお支払いをしているものでございます。ソフト事業については3件とも報酬ということでございます。

ハード事業につきましては、まず北赤田自治会につきましては、公民館の改修、それから防災倉庫の設置でございます。次に、上赤田自治会につきましては、公民館周辺の改修、それから防災倉庫の設置。東赤田自治会に対しましては公民館の修繕。西赤田自治会に対しましては、公民館の同じく修繕。それから、南赤田自治会につきましては、公民館の修繕とごみステーションの設置ということでございます。

成果についてですけれども、ソフト事業につきましては、監視の目があるということで、そういった効果によりまして、施設の適正な運営に、少しではありますけれどもつながっているのかなどいうところを感じているところでございます。

ハード事業につきましては、地域の公民館等を改修、整備するというところで、地域活動の活性化、こういったものが図れているんじゃないかなど、このように考えているところでございます。

○議長（君島一郎議員） 次に、5番、小島耕一議員。

○5番（小島耕一議員） それでは、市政報告書の85ページ、ゆーバス・予約ワゴンバス運行費についてお伺いいたします。補助金の決定の手法はどうしたのか、利用客数と補助金との関係はどうしているのかお伺いしたいと思います。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。
生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 補助金の決定方法ですけれども、市の地域バス運行事業補助金交付要

綱、こちらに基づきまして、運行経費から運賃の収入を差し引いたものを補助金として交付しているということになります。

利用客数と補助金の関係、こちらにつきましては、今言った方法で補助金を算出しますので、利用者が多くなれば基本的に補助金の額は減る、少なれば補助金は多くなってしまふということでございます。

ですので、利用者がたくさん出れば補助金も少なくなると、基本的にはなりますけれども、予約ワゴンバス、こちらにつきましては、1回当たりの出動経費が大きいということもありまして、1人当たりで使ってしまうというような例がたくさん出ますと、この限りでないということはあるかと思えます。

基本的には、利用者がふえれば補助金も減るということでもよろしいかと思えます。

○議長（君島一郎議員） 5番、小島耕一議員。

○5番（小島耕一議員） 続きまして、市政報告書の同じく85ページで、ゆーバス・予約ワゴンバス運行費でございますけれども、補助は市単独で実施しているのか、それとも国・県からの支援があったのか、また、あればどの程度の割合なのかをお伺いしたいと思います。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。
生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 補助金が単独かどうかということですが、平成29年度、こちらのゆーバス・予約ワゴンバスの運行費の事業につきましては、市単独の補助金ということで実施いたしました。

平成28年度までは県の補助金がございまして、それをいただいていたわけですが、こちらも平成29年度から補助要綱が変わりまして、1路線ですけれども、該当がなくなったということ

で、29年度については市単独補助金ということで実施をいたしました。

また、地方バス分ということで特別交付税をいただいております。その分、その中の1億2,500万程度を、このゆーバス・予約ワゴンバスの運行事業に充てております。割合としては62%ぐらいになるかというふうに思います。

以上でございます。

○議長（君島一郎議員） 5番、小島耕一議員。

○5番（小島耕一議員） 市政報告書の同じページ、85ページ、公共交通政策費でございます。

那須塩原市地域公共交通網形成計画策定支援業務及び那須塩原市地域公共交通再編実施計画策定支援業務の委託先はどちらか、お伺いしたいと思います。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 那須塩原市地域公共交通再編実施計画と、順番逆になりました。那須塩原市地域公共交通網形成計画、2つの計画ですけれども、いずれの計画もセントラルコンサルタント株式会社北関東営業所、埼玉県のさいたま市にある会社に委託をしているところです。

○議長（君島一郎議員） 次に、7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） それでは、市政報告書131ページ、高齢者自立対策・生活支援費、高齢者外出支援タクシー券について、予算に対するの執行率、地区（黒磯地区、西那須野地区、塩原地区）ごとの交付件数、利用率についてお伺いたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） それでは、外出支援タクシー関係の執行率等について回答させていただきます。

でございます。

まず初めに、予算に対するの執行率、予算額が6,000万円、執行額が5,461万3,500円、執行率91.02%であります。

次に、地区ごとの交付件数につきましては、黒磯地区1,320件、西那須野地区710件、塩原地区202件、合計2,232件であります。

続きまして、利用率につきましては、総交付枚数が14万6,165枚で、総利用枚数が10万9,227枚、利用率が74.7%であります。

以上です。

○議長（君島一郎議員） 7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） 当初の見込みに対して91%ということで、結果としてどのように捉えているかお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） それでは、91.2%ということで、こちらの対象者につきましては、一応70歳以上ということになっているんですが、この70歳以上のデータは住民基本台帳を調べれば出てくるんですが、そのほかの条件が、実際やってみないとわからないということで、具体的に申し上げますと、免許を有しているとか有していないとか、あとは家族に車を運転できる人がいないとか、そういったことで、対象者数というのがはっきりはつかめないんですが、結果91.2%ということで、大体、おおむね必要などころには渡っているのかなということで分析はしてございます。

○議長（君島一郎議員） 7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） 了解いたしました。

各地区の交付件数が、今ご答弁いただきましたが、行き先のデータ等は収集しているのか、お伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） まず初めに、先ほどの執行率を訂正させていただきます。

91.2%と申し上げましたが、91.02%の間違いです。すみませんです。

それと、遠方の利用ということで、すみません、行き先の関係ということでよろしいですね。行き先の関係ははっきりつかんでいないところはあるんですが、判明しているものだけ、ちょっと回答させていただきますと、以前のタクシー券は使用枚数が2枚までということでありましたが、このたび復活したタクシー券につきましては、一度の使用で5,000円相当まで使えるということで改正をいたしました。

そして内容を見てみると、うち3,000円以上4,000円未満の使用率が85件、4,000円以上で使っている方が89件ということで、これは全体の、ちょっと4分の1のデータから、ちょっと抽出したものなんですが、長距離で使っている方が174件ということで、全体の15%ぐらいは遠方で使っているのかなということで分析をしております。

○議長（君島一郎議員） 7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） 了解いたしました。

それでは、続きまして189ページ、不法投棄巡回監視事業費、不要投棄箇所の監視の効果、不法投棄廃棄物回収の実績についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 不法投棄箇所の監視の効果ということで、まず、状況に応じまして監視カメラを設置しているというところがございます。

不法行為者を特定して、警察の捜査に引き継いで検挙しているというところで、検挙に至らない軽微な投棄に関しましても、担当職員によりまし

て厳重注意または指導、こういったものを行っているというところがございます。

加えて、監視の一環といたしまして、不法投棄禁止看板、こういったものも設置いたしまして監視をしているというところがございます。その場所には、再度投棄されたというような事実は発生していないというところから、効果も十分に上がっているのかなというふうに感じているところがございます。

不法投棄の回収の実績ですけれども、こちら、先ほどもお答えしましたけれども、実績といたしまして、平成29年度、2万4,610kgの不法投棄物を回収したというところがございます。先ほども申しましたが、ピーク時から比べますと10分の1以下という量になってございます。

○議長（君島一郎議員） 7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） 不法投棄の廃棄物を撤去に至るまでの物量許容範囲は、どの程度を回収して二十四、五tになったのか、お伺いします。

要は片づけに至っていない場所もあるという話を先ほど聞いたので。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 2万4,610kgの回収の仕方というか、方法でよろしいんですかね。

すみません。

○議長（君島一郎議員） 7番、齊藤誠之議員。

○7番（齊藤誠之議員） 聞き方が失礼いたしました。

全体的に不法投棄箇所数は把握されていて監視はされているという情報を、今いただいたんですが、全て監視箇所について手をつけたという解釈には聞こえていない、要は全てがゼロになっているのかと。不法投棄に至っているものに対して、全て回収して25tなのかどうかをお伺いいたしま

す。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

生活環境部長。

○生活環境部長（鹿野伸二） 失礼しました。

基本的には全部回収できているということだと思います。

大変失礼しました。

○議長（君島一郎議員） 次に、4番、星野健二議員。

○4番（星野健二議員） それでは、決算書69ページ、学校給食費収入、未収入額の934万4,850円の主な理由を、先ほど中里議員に説明したのを、もう少し詳しくお願いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

教育部長。

○教育部長（小泉聖一） 先ほど中里議員には、簡単にといい、ちょっとお答えしたんですが、さらに詳しくということ、大変申しわけありません。

収入未済の主な理由としまして、特に保護者としての責任感、あるいは規範意識が希薄であるということ、それから保護者の経済的な問題というのが主な理由というので考えられます。

以上です。

○議長（君島一郎議員） 4番、星野健二議員。

○4番（星野健二議員） それでは、続きまして市政報告書160ページ、要支援児童放課後支援費について、利用者延べ件数が28年度と比べて473件ふえている理由をお願いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

子ども未来部長。

○子ども未来部長（富山芳男） 支援を要する児童に対しまして、食事や学習の場を提供する要支援児童放課後応援事業でございますけれども、平成28年度は西那須野、塩原地区のNPO法人キッズ

シェルター1カ所のみで実施しておりましたが、支援が必要であるより多くの児童に対応するため、平成29年7月から、新たに黒磯地区でNPO法人すくすく子育てやぎハウスが事業を開始し、合計2カ所で事業を行ったことから、利用件数が増加しているものでございます。

○議長（君島一郎議員） 4番、星野健二議員。

○4番（星野健二議員） それでは、続きまして決算審査意見書13ページ、市税の不納欠損の状況について、平成29年度の不納欠損件数のうち、時効になった件数をお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

総務部長。

○総務部長（山田 隆） 不納欠損2,210件のうち、時効による欠損は1,855件であります。

○議長（君島一郎議員） 質疑通告者の質疑が終了いたしましたので、認定第1号に対する質疑を終了することで、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終了いたします。

—————◇—————

◎認定第2号～認定第8号の質疑

○議長（君島一郎議員） 次に、日程第7、認定第2号 平成29年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてから、認定第8号 平成29年度那須塩原市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件を議題といたします。

質疑の通告者に対し、順次発言を許します。

初めに、9番、佐藤一則議員。

○9番（佐藤一則議員） 市政報告書、温泉事業特別会計、472ページ、市営温泉事業施設維持管理事業、その執行率とその理由についてお伺いいた

します。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

塩原支所長。

○塩原支所長（宇都野 淳） 執行率につきまして
は91.6%となっております。

予算額931万3,000円に対しまして、執行済み額
が853万467円となっております。執行残の主な
理由といたしましては、門前配湯所の配湯管の清
掃業務、これ、スケール清掃になりますが、こち
らの業務委託料の減及び門前1号また3号源泉、
これ、2カ所のポンプ工事を行っていますが、こ
ちらの工事費。また、温泉用深井戸の、これ、予
備ポンプでございますが、こちらの購入費が当初の
予定したものよりも減額となったものでござい
ます。

○議長（君島一郎議員） 9番、佐藤一則議員。

○9番（佐藤一則議員） 続きまして、市政報告書
温泉事業特別会計、473ページ、上・中塩原温泉
管理事業施設維持管理事業について、執行率とそ
の理由についてお伺いをいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

塩原支所長。

○塩原支所長（宇都野 淳） 執行率につきまして
は93.2%となっております。

予算額が2,043万円、こちらに対しまして執行
額が1,904万6,575円となっております。執行残
の主な理由といたしましては、第1配湯所、こち
らのポンプの更新工事及び原材料費、こちらが当
初予定していたものより減額となっていたもの。

また、緊急工事に対応するために、予備のメー
ターを予算づけしておりますが、こちらの購入が
なかったためによるものでございます。

○議長（君島一郎議員） 次に、2番、中里康寛議
員。

○2番（中里康寛議員） 決算書220ページから221
ページ、地域密着型介護サービス給付費、不用額

約3億円の理由についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田代正行） 3億円の理由につい
て回答させていただきます。

平成29年までを計画といたしました第6期高齢
者福祉計画と、前年度、28年度の実績見込みによ
りまして29年度の予算化をしましたが、利用数や
サービス必要量の見込みを利用実績が下回ったた
め、不用額が生じたものでございます。

○議長（君島一郎議員） 質疑通告者からの質疑が
終了いたしましたので、認定第2号から認定第8
号までの7件に対する質疑を終了することで、異
議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終了いたします。

—————◇—————

◎認定第9号の質疑

○議長（君島一郎議員） 次に、日程第8、認定第
9号 平成29年度那須塩原市水道事業会計決算認
定についてを議題といたします。

質疑の通告者に対し、発言を許します。

1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 水道事業会計決算書8ペ
ージです。水道事業貸借対照表の中の未収金の内
訳についてお伺いいたします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（磯 真） それでは、未収金の
内訳について回答のほうを申し上げます。

金額の大きい順から、水道料金が約1億2,000
万円、国庫補助金が約9,100万円、一般会計繰入

金が約7,700万円、下水道及び農業集落排水施設の使用料に关します賦課徴収事務受託料が約1,700万円、その他が500万円となっております。

○議長（君島一郎議員） 1番、山形紀弘議員。

○1番（山形紀弘議員） 内訳、わかりました。

その約3億1,000万、未収金になる主な要因はどのようなことかお伺いします。

○議長（君島一郎議員） 答弁を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（磯 真） 企業会計につきましては発生主義をとっておりまして、3月31日までに調定を行ったにもかかわらず収納になっていないものが未収金となっている次第です。

○議長（君島一郎議員） 質疑通告者の質疑が終了しましたので、認定第9号に対する質疑を終了することで、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終了いたします。

◎決算審査特別委員会の設置につ

いて

○議長（君島一郎議員） 次に、日程第9、発議第7号 決算審査特別委員会の設置についてを議題といたします。

本件は、那須塩原市議会委員会条例第6条及び第7条第1項の規定並びに市議会先例により、議会選出の監査委員である26番、中村芳隆議員を除く議員をもって構成する決算審査特別委員会を設置するものであります。

お諮りいたします。

発議第7号については、原案のとおり決することと異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり決しました。

ここで申し上げます。

決算審査特別委員会の委員長及び副委員長は、市議会先例により、議長が指名することになっております。委員長には25番、山本はるひ議員、副委員長には7番、齊藤誠之議員、9番、佐藤一則議員、14番、松田寛人議員をそれぞれ指名いたします。

◎議案の関係委員会付託について

○議長（君島一郎議員） 次に、日程第10、議案の関係委員会付託についてを議題といたします。

ただいま上程中の各議案については、お手元に配付の議案付託表のとおり関係委員会に付託したいと思いますが、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、議案付託表のとおり関係委員会に付託いたします。

関係委員会は、委員会日程に基づき審査を行い、本会議最終日、委員長は登壇の上、審査結果の報告を願います。

◎請願・陳情等の関係委員会付託

について

○議長（君島一郎議員） 次に、日程第11、請願・陳情等の関係委員会付託についてを議題といたします。

新たに提出された陳情4件については、既に配

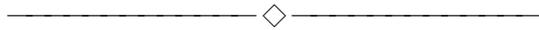
付いたしました請願・陳情等文書表のとおり関係
常任委員会に付託いたしたいと思いますが、異議
ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（君島一郎議員） 異議なしと認めます。

よって、請願・陳情等文書表のとおり関係常任
委員会に付託いたします。

関係常任委員会は、委員会日程に基づき審査を
行い、本会議最終日、委員長は登壇の上、審査結
果の報告を願います。



◎散会の宣告

○議長（君島一郎議員） 以上で本日の議事日程は
全て終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

ご苦労さまでした。

散会 午前11時00分